

地域福祉推進計画の目標

宍粟市社協がめざす将来ビジョンです

宍粟市のだれもが安心して暮らせるふくしのまちづくり

2007年 → 2009年

計画のねらい



- ①合併して大きくなった社協を強化すること。
- ②社協各支部での地域福祉計画づくりへの基本指針を示すこと。
- ③宍粟市地域福祉計画（行政計画）への社協からの提言を行うこと。

当面の福祉課題など

●相談・子育て支援など

福祉等相談体制の充実
若者の出会いの場づくり
結婚促進と若者の定住化
子育て中の親たちの交流の場づくり
子育て関係団体との連携・協力
子育て支援サポーターの不足
当事者の組織化
障がい者の就労問題
当事者や施設等への情報提供

●地域福祉活動について

小地域福祉活動のメニューづくり
小地域福祉リーダーの養成
新たな在宅福祉サービスの開発
障がい者や高齢者の移送手段
介護予防事業の強化

●福祉のまちづくりについて

福祉委員の学習の場づくり
自治会福祉連絡会の強化
男性ボランティアの発掘
新たなボランティアニーズへの対応
福祉教育事業の見直し（助成金等）

●これからの社協について

支部地域福祉推進委員会の運営
新しい財源づくり
市社協事業のPR不足
災害時の社協としての対応
介護事業の人材確保
企業や団体・NPO等との連携

宍粟市社会福祉協議会では、合併後の活動の最重点にあげていました「地域福祉推進計画の策定」に取り組み、一年九か月を費やして、このほど、この計画が出来ました。今月号では、その概要をお知らせします。

宍粟市社協

第1次

これが

第1次

地域福祉推進計画です！